

平成 29 年度協会けんぽ事業計画（重点事項）の骨子案について

1. 保険運営の企画

[改]○ 保険者機能の発揮による総合的な取組の推進

- ・ 協会から加入者等に直接的に働きかけを行う業務を更に強化するため、保険者機能強化アクションプラン（第3期）の28年度までの実施状況を検証し、その結果について、30年度の事業計画や保険者機能強化アクションプラン（第4期）（仮称）の策定に反映させる。

[新]○ 30年度に向けた意見発信

- ・ 30年度に実施される第7次医療計画、第7期介護保険事業（支援）計画、第3期医療費適正化計画、診療報酬・介護報酬の同時改定、国民健康保険制度改革（都道府県による財政運営等）について、加入者・事業主を代表する立場で関与し、他の保険者と連携しながら関係機関への働きかけや意見発信を行う。

[改]○ 地域の実情に応じた医療費適正化の総合的対策

- ・ 医療機関における資格確認業務について、実施医療機関の利用率の向上を図る等、その効果を高めるための取組を実施する。
- ・ 協会けんぽ内のインセンティブ制度について、試行的運用を実施し、30年度からの本格運用につなげる。

[改]○ ジェネリック医薬品の更なる使用促進

- ・ ジェネリック医薬品使用割合の都道府県格差の是正と更なる使用促進に向け、医療機関や調剤薬局毎のジェネリック医薬品使用割合等のデータを活用し、医療機関及び薬局関係者への働きかけを引き続き実施するとともに、新たな施策を実施する。

[改]○ 地域医療への関与

- ・ 30年度に実施される第7次医療計画、第7期介護保険事業（支援）計画、第3期医療費適正化計画、診療報酬・介護報酬の同時改定、国民健康保険制度改革（都道府県による財政運営等）について、加入者・事業主を代表する立場で関与し、他の保険者と連携しながら関係機関への働きかけや意見発信を行う。【再掲】

[改]○ 調査研究の推進等

- ・ 保険者機能の発揮に向けて、28年度から導入を進めているGIS（地理情報システム）の活用推進等により、加入者・事業主や関係機関等へ視覚的にもわかりやすい分析結果を提供し、各種事業の推進に役立てる。

○ 広報の推進

○ 的確な財政運営

2. 健康保険給付等

- サービス向上のための取組

[削] ○ 高額療養費制度の周知

[新] ○ 限度額適用認定証の利用促進

- ・ 限度額適用認定証の利用により加入者の医療機関窓口での負担が軽減されることから、事業主や健康保険委員等に対してチラシやリーフレットによる広報を実施するとともに、地域の医療機関と連携し、窓口限度額適用認定申請書を配置するなど利用促進を図る。

- 窓口サービスの展開
- 被扶養者資格の再確認
- 柔道整復施術療養費の照会業務の強化
- 傷病手当金・出産手当金の不正請求の防止
- 海外療養費支給申請における重点審査
- 効果的なレセプト点検の推進
- 資格喪失後受診等による債権の発生防止のための被保険者証の回収強化
- 積極的な債権管理・回収業務の推進
- 健康保険委員の活動強化と委嘱者数拡大

3. 保健事業

[削]○—保健事業の総合的かつ効果的な推進

[新]○ データに基づいた保健事業の推進

- ・ データヘルス計画について、これまでの経過検証と各情報の分析結果を基に、より支部の実態に即した第二期計画を策定する。
- ・ 特定健康診査の受診率向上に向けた取組をはじめとした保健事業全般について、協会が保有するデータを最大限活用した取組を進める。

[削]○—特定健康診査及び特定保健指導の推進

[新]○ 特定健康診査の推進及び事業者健診データの取得促進

[新]○ 特定保健指導の推進

[新]○ 事業主等の健康づくり意識の醸成を目指した取組（コラボヘルス）

- ・ 加入者の健康の維持・増進に向け、データヘルス計画による協働事業や健康宣言事業を活用する。

[新]○ 重症化予防対策の実施

○ 各種業務の展開

4. 組織運営および業務改革

[改]○ 組織や人事制度の適切な運営と改革

- ・ 協会の理念の実現に向けて、組織目標を達成するための個人目標を設定し、日々の業務遂行を通じて目標達成できる仕組みとした人事評価制度を適切に運用するとともに、その評価を適正に処遇に反映することにより、実績や能力本位の人事を推進する。
- ・ 28年度に導入した「人事評価制度の見直し」、「職員に期待する職員像の提示」、「等級ごとの職員の役割の明確化」等の新たな人事制度の運用・活用を通じて、協会を支える人材の育成を図る。

[改]○ 人材育成の推進

- ・ 「OJT (On the Job Training)」「集合研修」「自己啓発」を効果的に組み合わせた人材育成制度の定着を図る。「自ら育つ」という成長意欲を持ち、日々の業務遂行を通じて「現場で育てる」という組織風土を醸成する。
- ・ 役割定義を踏まえた職員のキャリア形成を行うための階層別研修、重点的な分野を対象とした業務別研修を集合研修として実施する。支部の実情に応じて研修テーマを設定できる支部研修の充実を図るとともに、自己啓発に対する支援を行う。

○ 業務改革の推進

○ 経費の節減等の推進